

第2回熱海市伊豆山復興計画検討委員会

意見内容と対応方針案

日時：令和4年3月25日(金) 13:30~15:20

場所：熱海市役所第3庁舎2階 第1~第3会議室

NO	意見内容	分野	事務局回答	事務局対応
議題1 復興基本計画(案)について				
1	<ul style="list-style-type: none"> 復興基本計画の理念として、「安全」を第一にした強い意思表示を前面に打ち出すなど、2度と繰り返さないという意思を示す必要がある。 	計画の理念について	<ul style="list-style-type: none"> 「安全」については明示する点は承知した。記載する箇所を検討する。 復興計画の概要もしくは基本方針1:安心安全の確保のどちらかを想定している。 	<ul style="list-style-type: none"> 復興基本計画に記載。
2	<ul style="list-style-type: none"> 【第2回・資料2】22頁の「速やかな生活再建」は、被災している方への支援が主であると思うが「2-2住宅の応急修理費用等の支援」は現在も行っているのか。 	施策について	<ul style="list-style-type: none"> 原則は建物の維持管理のための修繕と想定している。 被災者の方からの要望については、検討していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 住宅再建に関する取組を復興基本計画に記載。
3	<ul style="list-style-type: none"> 【第2回・資料2】23頁の「2-10商工業者等への事業再開・経営支援」とは、どのような支援か。 	施策について	<ul style="list-style-type: none"> 支援内容は、側面的な支援を想定している。 具体的には、商業祭をはじめとしたイベントでの連携等を想定している。 	<ul style="list-style-type: none"> 経営の安定化に関する内容を復興基本計画に記載。
4	<ul style="list-style-type: none"> 施策が50個程度あるが、5月までに庁内外で合意できるのか。 主要な施策に絞ってもいいと思っている。 	施策について	<ul style="list-style-type: none"> 復興基本計画で施策内容まで言及するか検討している。 今回は参考までにお示ししている。 	<ul style="list-style-type: none"> 復興基本計画では「基本方針」および施策の内容までの記載にとどめる。
5	<ul style="list-style-type: none"> 本検討委員会は策定までの任期であるが、計画策定後は、別の組織を設立することも考えているのか。 	計画策定後の推進体制について	<ul style="list-style-type: none"> 計画の推進体制のところで触れたが、事業の進捗を毎年確認していく予定である。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域一体となった計画進捗管理の体制を提案。

NO	意見内容	分野	事務局回答	事務局対応
議題2 復興まちづくり計画の方向性について				
6	<ul style="list-style-type: none"> ・「創造的復興」として公園や広場、オープンスペースがあることはとても良いことである。 ・警戒区域の中にその広場や公園、オープンスペース、あるいは避難場所も含めて機能が導入されていない。広い土地が確保できないのであれば、土石流のあったラインにシンボリックなものや資料館、道路には復興のシンボリックのようなものを導入するのはいかがでしょうか。 	土地利用について	<ul style="list-style-type: none"> ・生活再建にあたる部分が最重要と考えているが、余剰地においては地域のみなさまが有効に使えるものを整備したいと検討している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・復興まちづくり計画の将来像に反映。
7	<ul style="list-style-type: none"> ・逢初川の河原から道路がどの程度の幅及び規模で改修・改良していくのか。この整備を行うことでみんなが戻って住める地域になるのか。 	基盤整備について	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、安全性を確保するために必要な復興計画にあたる河川計画を県中心で検討・設計をしている。県の計画が完成した後に市が道路を整備する等検討している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・道路線形を将来像に反映。
8	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の委員会で出た意見のうち、通学ルートの確保、避難所の整備、電線地中化については、このたたき台に網羅されているのか。 	復興まちづくりの施策メニューについて	<ul style="list-style-type: none"> ・伊豆山神社線の大きなカーブの箇所、元JAの支店の箇所については、復興事業の中で進めていくことに加え、「安心できる子育て環境の整備」の点についても、理念として明記する予定。 ・例えば、避難所が伊豆山小学校のみでは、なかなか避難しにくく、避難路の問題もある。方向性としては一時的な避難場所の整備を基本目標として入れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・通学ルートの障害物は撤去のスケジュール検討、安心な子育て環境の整備について理念を復興基本計画の基本方針に記載。 ・地区内に避難所新設の検討（熱海市判断）。 ・復興まちづくり計画の将来像に無電柱化あり。手法を検討中。

NO	意見内容	分野	事務局回答	事務局対応
			<p>きたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・復興計画の中で、共同溝または電線地中化が可能かどうかを含めて、事業計画を検討しているところである。 	
9	<ul style="list-style-type: none"> ・【第2回・資料3】シンボルツリーがあるが、土石流が通って、いつ倒壊してもおかしくない感じがする箇所にある。これをそのまま残しておく危険と思うが、その点ではどうか。 	災害遺構について	<ul style="list-style-type: none"> ・木の状態を確認する。 ・他所の被災地においてもシンボルツリーはあるが、伊豆山では木よりも石の方がいいかもしれない。考え方としては、他市の事例を参考に「祈りの場」のようなものが区域内のどこかにあると良いのではという、現状ではまだ整備イメージの段階となる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・シンボルツリーに限らず、後世への記憶の継承について検討。
10	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりの将来像を決めるには時間を要するので、具体的に決めるべきところは決めていく必要がある。 ・現時点で半分以上はこういう形になると理解しているがどのように考えればよいか。 	復興まちづくりの進め方について	<ul style="list-style-type: none"> ・場所の問題はどうしても私有地にならざるをえない所もあり、現状ではイメージレベルになってしまう。ただし、地域の為に、将来の為に整備していくべきものの案として検討を進めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の意向を丁寧に聞きながら、具体的な将来像を積み上げていく。
11	<ul style="list-style-type: none"> ・復興まちづくりの方向性について、一つ目は、ここに住み続けるための安全性や生活再建を始めるための条件、二つ目は、土地の特性事情を踏まえて我慢せざるをえない条件や生活再建をするために進めていきたいことを検討していく必要があると感じている。 	生活再建に向けた条件について	<ul style="list-style-type: none"> ・まだ十分な議論が進んでいない。 ・安全性については基本計画の中に反映したい。 ・伊豆山を元に戻し、安全性を確保した復旧として、国・県とも連携していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地区内への生活再建に向け、安全面の確保がされた段階で地区内で生活再建が可能となる点を整理する。 ・従前が住宅地である特性を踏ま

NO	意見内容	分野	事務局回答	事務局対応
			<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の方が戻る条件として、被災者用住宅等があればということが明確になるのではないかと思うが、議論が進んでいるわけではない。 	<ul style="list-style-type: none"> え、公営住宅（被災者向け住宅）の建設可否を検討する。
12	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者の方から、戻れる時期が2年後か3年後か、大きな関心になっている。子どもの成長にあわせて生活圏や家族構成が変化していくため、被災前の土地で生活再建を進めるか決めかねている。ある程度のスケジュールを示してもらおうことが、必要と思う。 	復興まちづくりのスケジュールについて	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全体の復興スケジュールを示すことはできない状態。地域の安全性の確保、インフラの整備、生活再建支援の継続性をどのように担保するかという3つが揃ったタイミングで整合性が図られる。 ・ 一方で災害から1年経った7月頃は何等かの目安が示せるよう検討を続けていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和4年7月ごろに一定のスケジュールを提示することを目標に、復興事業スケジュールの深度化を進めていく。
13	<ul style="list-style-type: none"> ・ 復興基本計画の各施策については網羅的に検討するのではなく、項目に応じて優先順位や詰め切る部分に差があるのではないか。 	復興まちづくりの進め方について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 見栄え良く丁寧という考えの下に進めており、現在では余分な内容まで書いている。 ・ ご意見を踏まえ、被災者の皆さんが本当に欲しい情報・計画を言及した、もう少しスリムな作りをしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 熟度の高い具体施策の検討・検証は時間を要するため、復興基本計画では「基本方針」までの記載にとどめる。
14	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市は伊豆山に公有地を持っていないのか。公営住宅等を建設することが可能ではないのか。 	土地利用について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在市の保有する公有地のうち、大きな土地として、市営住宅跡地が猪洞にある。 ・ ただし、敷地条件や安全性の点で課題が解消されておらず、課題として検討している。他 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地区外の公有地活用については、優位性や地域からの利便性等を総合的に踏まえ検討を進めていく。

NO	意見内容	分野	事務局回答	事務局対応
			<p>にいい条件の公有地及び民地が今後出てくる可能性もあるため、土地の確保も含めた検討を続けていく。</p>	
15	<ul style="list-style-type: none"> ・ 民間の土地も含めて、地区内に道路整備が出来ないかという点についてどのように考えているのか。 	<p>土地の権利関係について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在までのところまでは、そこまでの議論はしていない。 ・ 必要に応じて、行き止まり箇所や車が通行できない箇所等の道路の課題を住環境の整備の一環として拡幅したり、或いは河川と道路で土地を収用した後に地域の中で移りたい要望があった際に、斡旋し、代替地として活用可能かどうか検討を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 宅地を一括で用地買収したのちに斡旋とすることが可能か検討を進める。
16	<ul style="list-style-type: none"> ・ スケジュールをはやく示してほしい話に関連して、伊豆山に戻って生活再建を始めるまでの猶予は被災者によって違っている。スケジュールを示すことができるようになるまで時間がかかるならそれも含めて早く教えて欲しい。 	<p>復興まちづくりのスケジュールについて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 復興計画の完了時期について、現時点でこれ以上は回答できない。 ・ 国も県も市も設計・工事を進めており、被災から1年の7月に一定のスケジュールをお示しできる見込みでいる。その時に示せなければ、いつに示せるのかを提示できると想定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和4年7月ごろに一定のスケジュールを提示することを目標に、復興事業スケジュールの深度化を進めていく。
17	<ul style="list-style-type: none"> ・ 河川の拡幅により土地の買収も関係すると思うが、進捗状況や今後のスケジュールを教えてください。 	<p>国・県との連携状況やスケジュールについて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3/27、28に、関係者とする地権者や町内の皆さまを対象として、河川工事と市の道路工事に関する情報提供をする 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 回答済み。

NO	意見内容	分野	事務局回答	事務局対応
			<p>予定。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4 月以降、関係する皆さまの直接説明にするスケジュールで進める予定になっている。 	
5. その他				
18	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワークショップの実施についてはとてもいい考えだと思うが、今回企画及び対象は伊豆山全体なのか、災害区域内なのか、教えて欲しい。 	ワークショップの実施について	<ul style="list-style-type: none"> ・ まずは被災地エリアで復旧等が復興をメインにしたものを行いたい。 ・ 復興基本計画とまちづくり計画の後には実施計画もあるが、この計画にとどまるものではないものとして理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワークショップ実施に向けた事前調整・確認を行う。
19	<ul style="list-style-type: none"> ・ 河川改修や砂防堰堤がどのような大きさでどの位置にいつできるのか、教えてほしい。また、復興に向けた情報をもっと周知してほしい。 ・ これから梅雨に入ったときに耐えられるのかが不安である。専門家が設計・工事を行っているため大丈夫だと思うが、まだ土砂が残っていることへの不安もある。こうした不安を払拭できなければ伊豆山に帰って来られない。このことを県や国の担当者にも聞いてみたい。 	復興まちづくりの進め方について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上流部については、国土交通省が堰堤の整備を進めている。 ・ 実際事業するのは、県・国だが、市はしっかりコーディネートし、皆さまにその情報をお伝えすることが、役割と思っている。 ・ そのため、積極的に県や国と協議・調整の場を持ち、委員会の意見を最新の情報として伝え、いま皆さまが懸念となっている部分を、市が中心となって調整し、クリアにして参りたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 回答済み。

以上

第1回熱海市伊豆山復興計画検討委員会

意見内容と対応方針案

日時：令和4年2月25日(金) 13:30~15:20

場所：いきいきプラザ7階多目的会議室

NO	意見内容	分野	事務局回答	事務局対応
議題1 検討委員会設置要綱について				
1	<ul style="list-style-type: none"> 説明の中で復興計画は3つの計画で成り立つと説明があったが、第2条1項には復興計画の定義には2つしか入っていない。事業計画は含まれないのか。 	計画の構成について	<ul style="list-style-type: none"> 復興計画検討委員会で取り扱うものは「復興基本計画」及び「復興まちづくり計画」までである。 地権者や利害関係者との交渉が主となる「復興事業計画」は検討委員会では扱わない。 	<ul style="list-style-type: none"> 回答済み。
2	<ul style="list-style-type: none"> 地元に戻りたい気持ちが強く、帰りたくても帰れない人も多い。東日本大震災では短期間で居住できる住宅(公営住宅)を作ったが、今回は検討していないのか。 	計画に位置付ける施策について	<ul style="list-style-type: none"> 「復興まちづくり計画」及び「復興事業計画」の中で検討する。 熱海市では「改良住宅」と言い、検討を始めている。 地元からのご意見があれば、「復興基本計画」の中に住宅整備の重要性を示していくこととしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 復興基本計画の「第4章 復興に向けた取組」で位置づけることを検討する。
議題2 伊豆山地区の災害の概要と発災後の経緯(意見交換会等)について				
3	<ul style="list-style-type: none"> 逢初川の盛土が残っていると聞く。 それらを山に出すことを誰かがするのか。 擁壁が割れて新たに作っていることもあった。さらに逢初川は暗渠になっているが、拡幅す 	河川整備について	<ul style="list-style-type: none"> 地山の問題は安全性・危険性を調査中と聞いている。結果次第で対応を検討する。 護岸工事は台風被害を見据えて緊急工事を行うものとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 回答済み。

NO	意見内容	分野	事務局回答	事務局対応
	<p>る、水の筋を変えるところまで行うのか。</p>		<ul style="list-style-type: none"> 流域の大きな流れを変える必要はないと思うが、数十年に1度の大雨に対応するために拡幅の必要性を感じている。 	
4	<ul style="list-style-type: none"> 砂防ダムの大きさはどの程度なのか。 砂防ダムのある山側に行くと小さいものが埋まっており、砂防ダムの意味がなくなる。 雨が降れば土が流れてきて埋まってしまう。意味がないのではないかと思っている。 	砂防ダムについて	<ul style="list-style-type: none"> 国の中部地方整備局が担当し、対応を進めている。 大きさや需要量は整理をして今後の資料に追加する。 	<ul style="list-style-type: none"> 次回委員会等で示すことを検討する。 基本計画にて県、国の復旧復興対応についても記載。
5	<ul style="list-style-type: none"> 避難所の開設状況について、今回は指定避難所以外が大活躍している。 発災後、公民館を目指していくが仲道公民館は避難所に指定されておらず、伊豆山小学校に半数が向かったが、高齢者向けトイレがない。断水中はトイレも使えない。 たまたまホテルに避難できたが、避難所の設備・整備を充実してほしい。ホテルがなければ、どこで寝泊まりしたのかと話すこともある。 	計画に位置付ける施策について	<ul style="list-style-type: none"> 災害で指定避難所や避難所の課題が浮き彫りとなった。 意見を受け取り反映していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 復興基本計画の「第3章 復興基本計画の基本的な考え方」、「第4章 復興に向けた取組」で位置づけることを検討する。
議事3 復興計画の内容について				
6	<ul style="list-style-type: none"> 住んでいる人は土地の中に道路ができるのか、住めるのかが気になっている。 道路がかかったときに、土地がなくなる人も残る人もいる。市の対応方法はどうなっているのか。 斜面が急なところでは道路、川 	計画に位置付ける施策について	<ul style="list-style-type: none"> 地域コミュニティについては、被災前の状態に戻すまでなのか今後でも発展させていくのかを「復興基本計画」で整理する。 道を通すのか具体の設計は「復興まちづくり 	<ul style="list-style-type: none"> 復興基本計画の「第4章 復興に向けた取組」で位置づけることを検討する。

NO	意見内容	分野	事務局回答	事務局対応
	<p>をつくって終わりなのか。市はどこまで考えているのか。これからになるところも多いと思うが、家が流された人が本当に戻って来られるのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 道路を作ればいいだけではない。どんなまちづくりになるのか住民に諮ってもらいたい。東北では盛土をしてまだ時間がかかっているところもある。 		<p>計画」で検討していく。</p>	
7	<ul style="list-style-type: none"> まちを元気にするにはどうすればいいか。 若い人(40~50代)がどう考えているのか。子育て世代がどう考えているのか話を聴きたい。 	<p>計画策定の方法について</p>	<ul style="list-style-type: none"> 要綱にもあるが、委員以外の方に検討委員の中に呼んで意見を述べてもらうことは可能である。 若い人の意見は極めて重要なものとして捉えている。 次回以降で対応する。 	<ul style="list-style-type: none"> 若い人の意見等を含めて意見収集の方法については別途検討して委員会で諮っていく。
8	<ul style="list-style-type: none"> 基本計画の考え方は、安全安心の確保となっているが、まず「安心」が大事。ハードではなく、帰ってきたいと思わせる対策が必要ではないか。 安心と安全の両輪を盛り込んで事業計画に繋げていってほしい。 付随するが、伊豆山は安全といわれてきたが、安全ではなかった。逢初川だけでなく、伊豆山地区全域が安全はないことをみんなで共有すべき。ハザードマップでは真っ赤に塗られている。 今回の復旧復興計画を考えるにあたっては伊豆山の土地の特徴を踏まえ、参考にしながら 	<p>計画の内容について</p>	<ul style="list-style-type: none"> 安心安全の哲学としてキーワードを反映して基本計画としてまとめたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 復興基本計画の「第1章 復興基本計画の概要」および「第3章 復興基本計画の基本的な考え方」、「第4章 復興に向けた取組」で位置づけることを検討する。 3本柱の文言修正。

NO	意見内容	分野	事務局回答	事務局対応
	<p>ら、逢初川の復旧は伊豆山地区の復旧につながっているとみるべきではないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被災された地区が一番大事だが、他の伊豆山地区にもつながっていく。上流で何かが起きれば、下流でも何かが起きる。津波があれば、内陸部も影響を受ける。伊豆山は山津波が怖いといわれていたところもある。 ・区域に隣接する地区の住民が安心できるような影響を与える復旧復興計画を作るべき。 			
9	<ul style="list-style-type: none"> ・消防団詰所も被災している。 ・浜地区のコミュニティセンターを借りている。消防車は浜会館公園にあり、別のところにあるのが現状で、有事の際に迅速な対応ができない。 ・詰所を早く建設してほしいが、復興計画に記載されないと早急な対応はしてもらえないのか。 	計画に位置付ける施策について	<ul style="list-style-type: none"> ・個別案件となるが、計画を待たずとも、消防活動など地域活動に資する醸成は復興計画に反映していく部分だが、防火に必要な詰所の設置は別の議論となる。 ・別途先行して検討し、復興計画に反映していくことになると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・復興基本計画の「第4章 復興に向けた取組」で位置づけることを検討する。
10	<ul style="list-style-type: none"> ・復興計画では、今後の発展を見据えているが、通学路（伊豆山神社線）の歩道に黒い土囊が積まれたまま整備されずに半年経っている。 ・朝夕の登下校に地域ボランティアや教員が見守りをしているのが現状だが、対応してもらえないのか。 	計画に位置付ける施策について	<ul style="list-style-type: none"> ・消防団詰所と同じ議論で、子どもが安全に学べる環境づくり、地域で見守るまちづくりは計画に盛り込んでいく。 ・一方で、早急に現地確認を行い、即対応方針を検討していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・復興基本計画の「第4章 復興に向けた取組」で位置づけることを検討する。
11	<ul style="list-style-type: none"> ・被災者の気持ちを踏まえた対応は現在で重要な局面と認識している。 ・一方、復興計画で実現していく 	計画の内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・被災者へは福祉的な観点から生活再建に向けた心と体のケアを含めてフォローしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・若い人の意見等を含めて意見収集の方法については別途検討し

NO	意見内容	分野	事務局回答	事務局対応
	<p>まちづくりの将来像は地元のご意向を把握しないとイケない。</p> <ul style="list-style-type: none"> 両方の対応が求められているが、市がどのように進めていくのか教えて欲しい。 		<ul style="list-style-type: none"> こういう場で意見を述べる方もいれば発災時に心が後戻りする方もいる。そうした方からは、「自分たちがいることを忘れないでほしい。戻れるようになったときに戻れる環境を作っていくほしい。」と聞く。 市として、会議があったことについて広報活動を通じて情報提供していく。 気持ちが前に向いたときに他の団体を通じてでもご意見や想いを発してもらえようようにしたい。 	<p>て委員会で話っていく。</p>
12	<ul style="list-style-type: none"> 8月までに復興まちづくり計画を策定していくと説明があったが、個々の建物被害状況の詳しい状況を伺いたい。 個人情報の保護が関わってくることでプライバシーの面で難しいことも承知し、委員会が公開の場となることも課題かもしれないが、個人情報の取り扱いについては、委員だけを呼んで開催することも一案と思う。検討してほしい。 	<p>計画の内容について</p>	<ul style="list-style-type: none"> 事務局で検討し、報告する。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後の委員会等で示すことを検討する。
13	<ul style="list-style-type: none"> 岸谷地区が被害大きく、自分の家の近くということで、仲道に借家を借りている方がいる。無償で2年間家賃負担(県)がしているがこのまま整備が進まなければ、資金があったとして 	<p>計画に位置付ける施策について</p>	<ul style="list-style-type: none"> 2年後以降の家賃負担や生活再建の資金は政策の問題。 制度については今後検討していくことになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 復興基本計画の「第4章 復興に向けた取組」で位置づけることを検討する。

NO	意見内容	分野	事務局回答	事務局対応
	<p>も、家を建て替えることは出来ない。2年で切れたときには家賃を払う必要があるのか、県補助の延長があり得るのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自宅の立て直しに無利子の公的資金の投入の可能性はあるのか教えて欲しい。 			
14	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次年度の初めに復興基本計画を策定するならば、委員会が言わずとも、被災者の意見を聴いていくべき。今日の場合は地元からの要望に対し、市としての考えを議論する段階と思っている。資料を見ると、市が作った計画はどこにでもある計画に見える。 ・ 東日本で修羅場をくぐってきた経験からすると、現場感が伝わっていない。現況をまとめるものが、基本計画でもまちづくり計画でも薄い。 ・ 東日本ではすさまじい量の現況資料があった。市が対応しているものは現況調査でも書いておくべきと思う。 ・ これは提案だが、必要に応じて東北の知見や話を聞くことも重要と思う。 	計画の内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画の策定と地元の意向把握は同時進行で進めていく。 ・ 地域の意見を尊重してほしい旨を言ってもらえれば、ワークショップや勉強会も検討する。 ・ 基本計画があって初めて工事に入れるものもあるので並行して進めざるを得ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 復興基本計画の「第3章 復興基本計画の基本的な考え方」、「第4章 復興に向けた取組」で位置づけることを検討する。
15	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4章の構成を地域の現況を読み取って構成してほしい。今後の取組みが見えにくいので、地域の目線で読みやすいものをお願いしたい。 ・ コミュニティの再建もどこかで項目建てして対応してほしい。復興基本計画だけでなくまちづくり計画でも。 	計画の内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元からは自然、コミュニティの尊重再建といった意見は伺っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 復興基本計画の「第4章 復興に向けた取組」で位置づけることを検討する。

NO	意見内容	分野	事務局回答	事務局対応
16	<ul style="list-style-type: none"> ・ 伊豆山地区は傾斜があつて、段々畑になっている。道路、川を作つて、上流部のことや具体的などころはどうするのか。 ・ 若い人に帰つてきてもらうために、どうすればいいか。新しい人を呼べるのか。50年100年先を見据えてほしい。 ・ 伊豆山の価値は今は0だが、車で家に入つていけるような道を作らないと若い人は住まない。安心安全なまちであるならばもっと整理された村をつくらないといけないと思う。 ・ 景観は素晴らしいので戻つて来られるようにしてほしい。景観をさらによくするためには、無電柱化もあるのではないか。 ・ EU では 98%が無電柱化となっている場所もあると聞く。 ・ 河川の問題も含めて考えてほしい。 	計画に位置付ける施策について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現実味を帯びているまちづくり計画の方が興味があるかもしれないが、今日は復興に向けた理念や方向性を伺えればと思つていた。 ・ 貴重なご意見として伺う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 回答済み。
17	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今回の議事録は次回の委員会の前に内容を共有してほしい。 	計画策定の方法について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料や議事録は委員に事前に送付を共有する。議事録はホームページにも公開する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 回答済み。